

## 《 剣道専門部の主催大会における確認事項 》

### 【審判関係について】

- 1 審判旗は「横巻き」とする。
- 2 すべての宣告は大きな声で明瞭に行う。
- 3 試合場の入退場は、三人揃って右足から移動する。
- 4 服装について
  - (1) 役員・監督・部活動指導員及び外部指導者の服装は審判員に準ずる。
  - (2) ネクタイピンを使用する場合は見えないように着用する。
  - (3) ボタンダウンのワイシャツは着用不可とする。
- 5 審判席での姿勢や態度に留意する。次の試合の審判員は、審判旗を両手に持ち、正しい姿勢で着席する。
- 6 審判席は指定となります。席に名札が添付してあります。自席を確認し、それ以外の席の利用はご遠慮ください。
- 7 個人戦は3試合終了後、団体戦は1試合終了後、打ち合わせを各試合場ごとに行います。
- 8 主審は竹刀検量済み、正しい蹲踞の確認後、試合を開始する。(約3秒程度)
- 9 「始め」の宣告後、構えが成立する前に打突動作に入った場合は、ただちに主審は「止め」を宣告する。もし、打突が当たったとしても有効打突として認めない。その後、指導した上で再度「始め」を宣告する。
- 10 片膝蹲踞の選手は、片膝蹲踞の姿勢のまま「はじめ」の宣告を行う。
- 11 合議後の反則については、内容を選手に説明し「反則〇回」と宣告する。事由の通告は行わない。
- 12 代表者戦について
  - (1) 任意の選手とは補員を含めた7名の選手から選出。
  - (2) 監督→審判主任(ここで確定)
  - (3) 補欠の選手を起用した場合は、最後の整列には最初の5人で整列する。
- 13 審判割り振り表は大会当日に配付する。変更等は、口頭で連絡します。勝ち上がりによっては、母校・師弟関係・家族親戚関係の学校の審判に当たってしまう場合があります。早めに審判主任の先生へ自己申告してください。
- 14 自校の監督が最優先です。監督と審判が重複しそうな場合は、早めに審判主任の先生へ申し出てください。また、監督が終了しましたら、速やかに自身の試合場に戻り、審判主任の先生の指示に従ってください。
- 15 自分の審判の順番以外でも、審判を依頼される場合があります。また、準決勝、決勝は自己研修として、自席で見学してください。審判の選出は本部で行います。席を離れる際は、所在を明らかにしてください。準決勝および決勝の審判は審判主任の先生にお願いする場合があります。ご自身

の試合場で2試合程度、審判をしてください。その際、審判主任席には副主任の先生が座ってください。

- 16 各試合場で椅子に座っている姿勢、発言等については気をつけてください。休憩は、控室でお願いします。
- 17 全試合終了後、閉会式開始までの時間で、各試合場におきまして、その日の反省会を審判主任・副主任の先生方を中心に行ってください。審判主任の先生方は、反省用紙に内容をご記入いただき審判部までご提出ください。

#### 【試合・審判規則、申し合わせ事項について】

- 1 肘の出ている剣道着 → ◇全日本剣道連盟剣道試合・審判細則 第3条の2
- 2 道場連盟等のワッペンなどの剣道着への貼付不可

#### <暫定的な試合・審判法について>

- 1 開始式終了後、審判部から出場選手に対して、コロナ禍における暫定的な審判法の説明があります。審判の先生方は、審判部の説明を自席でお聞きください。
- 2 審判員の試合場への入退場は、1メートル以上の間隔を空けて行う。主審は中心の位置に、副審は開始線よりやや外側に立ち、定位置まで開始線の外側を通り直進する。
- 3 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。
- 4 審判、役員は白色のマスクを正しく着用する。
- 5 審判旗は、各自持参する。
- 6 鏝競り合い及び鏝競り合い解消時の反則の見極め、「分かれ」を宣告する判断は主審の専決事項とする。
- 7 「分かれ」→「始め」の宣告の仕方
  - (1) 審判員は選手の動きを先取りをして移動する。状況により「分かれ」の宣告が試合者の中央で宣告できない場合もあるが、「始め」の宣告は必ず両試合者の中央の位置で行う。
  - (2) 完全に剣先が触れない位置まで分かれさせる。
- 8 その他
  - (1) アイガードが曇ってしまった場合
    - 審判員はあまりにも曇っていると感じた場合は試合を中断し拭かせる。
    - タイムをかけて良い。(右手を上げ、「タイム」と発声する。)
  - (2) 正しくマスクが装着されていない場合は、試合を中断し、つけ直しさせる。

本大会関係文書を必ずお読みください。専門部ホームページにも掲載いたします。

また、急な変更や連絡がある場合も専門部ホームページに掲載いたします。お手数ですが、小まめにご確認ください。ご協力をお願いいたします。